

2013 年 5 月 27 日

## 調和そして前進

### I 会長 松山喜代子

カウンスル No.3 今期は、ITC の基本を大切に、また ITC の将来を考えた時、外部に発信し、今後社会との関わりを持つことが大切と期首より申し上げ、少しでも良い前進をする為には、新しい試みも状況に応じて必要と考え、皆様の多大なるご協力のもと、取り組んでおります。第 2 回会合も無事終え、今は、第 3 回会合の準備を進めております。

第 2 回会合は、4 本柱で行いました。

- ①スピーチコンテストの審査委員と講評に、外部の方の意見を伺うため兵庫県教育委員会の方に来ていただきました。
- ②高校生スピーチコンテスト優勝者によるデモンストレーションを行いました。  
(昨年より継続)
- ③会合の【全体講評】を外部の有識者 5 名にお願いしました。  
スピーチコンテストと混乱しないように十分に議論を重ね行動に移しました。  
大学教授、準教授 講師の 3 名  
兵庫県教育委員会より 1 名、兵庫県民局より 1 名 計 5 名
- ④皆様のご協力をいただき、ブリング&バイを行ないました。

第 3 回会合は 3 本柱で行います。

- ①ワークショップ「朗読ひろば」 表現力、伝達力アップを目指す。  
コミュニケーションスキルアップ。
- ②フォーラム「現代の教育を語る」 青少年の教育について共に考える。
- ③審議事項として長年の懸案である「カウンスル年会費」の値上げについて審議を行う。  
詳細につきましては、プログラム・教育委員長からご報告・ご案内が次ページにあります。

◆PREM 委員長からお願いいたしました所属クラブからの「ITC についてのご意見」を巻末に掲載しております。今後の活動の参考になさってください。

◆第 3 回会合にどうぞ外部の皆様をたくさんお誘い下さい。  
内容的にも、教育に携わっておられる方々、子育て中の方々、幅広い年代の方に来ていただけるものだと思います。そしてクラブにお繋ぎ下さい。

カウンスル年会費につきましても、今後の健全なるカウンスル運営を考え、どうぞご理解下さいますようお願いいたします。

皆様の活動、ご協力に日頃より感謝申し上げます。

## II 第一副会長 岡田恭子(プログラム・教育委員長)

### 1. 第2回会合ブリング&バイの結果報告

ご協力頂きましたブリング&バイ。バザーの売上高は 72,050 円でした。  
予想以上の収入を得る事が出来ました。ありがとうございました。  
今後の会合プログラム等に活かしてまいります。

### 2. 全体講評者について

初めての試みとして外部識者 5 名にご参加頂き、会合全般の意見感想などを頂きました。

#### 1. 会場準備 雰囲気について

- ・もてなしの心にあふれていた。細かい所まで行き届いた準備がされていました
- ・全てに於いてシステムティックな構成と公式性の高さに好感を持ちました。
- ・わざわざエスコートを付けて頂きエスコートの方に親切に説明頂きました。
- ・ホテルとの連携も良く、会場外の案内も良くわかりました。
- ・明るく広い空間でその中でも凜とした空気がありました。

#### 2. ビジネスについて

- ・何より時間にきっちりしている事が印象的です。無駄な時間がありませんでした。
- ・フォーマルな会合としての厳格さに重さを感じました。
- ・発言者が“第一に、第二に”と前もって発言内容を想像させていたのは効果的でした。
- ・進行がクレバーだと感心しました。時間通りの進行を目指しているのは理解できますが各種サインの音など気になりました。

#### 3. プログラム (スピーチコンテスト)

- ・多くの方がこのような機会に触れられることを願います。
- ・内容がもっと仕事や社会の内容が出てくることを望みます。
- ・堂々とお役目をこなされていました。カテゴリーの中で論題・題目が上手に表現されスピーチのおもしろさを改めて感じました
- ・会場のリアクションが日本離れして反応が良く、スピーカーも話しやすかったのではないのでしょうか
- ・厳格なルールと明快な審査基準は他の大会で参考にさせていただきます。
- ・ライトで制限時間を通知する方法は良いアイデアです。

#### 4. 高校生スピーチデモンストレーション

- ・圧巻でした。このような学生がいることを知ることが出来、とても嬉しいです。
- ・英語でのスピーチはネイティブスピーカーで聴き取る力が自分にはなく残念でした。しっかりしたスピーチが伝わってきて感心しました。芦屋学園の方のスピーチは内容のみならずスピーチの話力に感心しました。2人とも、これだけのスピーチが出来る高校生がいることは素晴らしいです。

#### 5. その他

- ・どなたも発音がクリアで驚きました。ステージに立つ者全てに必要なことかもしれません。

### 3. 第3回会合は盛り沢山

第3回会合：6月27日（木）11：00～15：00

神戸ポートピアホテル 和楽の間

#### ワークショップ「朗読ひろば」

楽しくその場で納得 木村章子先生のご指導を頂き、  
改めて朗読の魅力を手得し、表現力のUPを目指しましょう！

#### パネルフォーラム「現代の教育を語る」

第2回会合において全体講評者として参加下さった林守也氏、頭師暢秀氏に  
佐伯省吾会員も交え、現代の教育について大いに語っていただきます。

#### 簡単プロフィール

パネリスト 林 守也氏

- ・流通科学大学（商学部）客員教授  
久保田鉄工（現 株式会社 クボタ）入社  
クボタアメリカ販売会社CEO&社長を経て株式会社クボタ副社長・副会長を歴任  
大阪青少年補導協会理事長等 社外役職も多く務められている

パネリスト 頭師暢秀（ずし のぶひで）氏

- ・流通科学大学（サービス産業学部）准教授
- ・Ph.D.（経営学博士）  
慶応義塾大学在学中に、全日本学生弁論大会で優勝。  
(株)島津製作所勤務等を経てニューヨーク市立大学大学院博士課程修了。  
「人づくりで国づくり」を教育活動のモットーに、主に西播磨を舞台に産学連携活動  
による教育を推進している。

パネリスト 佐伯省吾(西宮) カウンسل No.3 第32期第二副会長

- ・料亭 さえき オーナーシェフ ・技能士 ・中医薬膳指導者 ・大学講師 ・食育  
モデレーター 横山末子(六甲・クリスタル神戸)
- ・染織作家 ・各種団体で幅広く活躍

### 4. カウンسل C.M.T.日程のお知らせ

#### カウンセル No.3 第32期クラブ運営研修会

現カウンセル役員・常任委員長の皆様、次期カウンセル役員・常任委員長の皆様  
クラブ次期役員・常任委員長の皆様は日程を確保しておいて頂きたいと思ひます。  
宜しくお願ひいたします。

日 時：7月23日（火）13:00～15:40

一部：役員部門 13:00～14:30 二部：常任委員長 14:40～15:40

場 所：神戸市医師会館 市民ホール

### Ⅲ 第二副会長 佐伯省吾 (PREM 委員長)

1. 会員数： 170 名 (内 重複会員 20 名、 3クラブ重複会員 1名) 5月15日現在

2. リージョン大会表彰 6月5日(水)15:50 インペリアルホール 15:50

#### ①継続会員

30年継続会員： 西宮クラブ 児玉照江 桜井松子 山道詞子  
20年継続会員： ポート神戸クラブ 浜田有里 中井恵利子

#### ②リーフレットコンテスト入賞

2クラブが 入賞されました！

入ってみたいで賞：舞子クラブ

楽しいで賞： しらさぎクラブ

### Ⅳ 会計 長尾直美

#### 【新入会員】

| クラブ名  | 会員名      | 電話番号          | 〒        | 住所                        |
|-------|----------|---------------|----------|---------------------------|
| 姫路    | 河島 ちひろ   | 079-227-1347  | 670-0804 | 姫路市保城 47-1                |
| 12月   | カワシマ チヒロ |               | E-mail   | kawasima@ares.eonet.ne.jp |
| ポート神戸 | 神吉 正和    | 080-3768-5849 | 654-0123 | 神戸市須磨区清水台 1-18-312        |
| 3月    | カンキ マサカズ |               | E-mail   | Fptech7226@gmail.com      |
| 芦屋    | 福井 美奈子   | 0797-35-2570  | 659-0025 | 芦屋市浜町 14-6-303            |
| 5月    | フクイ ミナコ  |               | E-mail   | Dfbzu003@kcc.zaq.ne.jp    |

#### 【新メールアドレス】

|                 |   |                  |
|-----------------|---|------------------|
| 中島カツコ (しらさぎ)    | <a href="mailto:obe52663@meg.winknet.ne.jp">obe52663@meg.winknet.ne.jp</a>                          | 2012年9月1日 (変更)   |
| 和泉 敏子 (しらさぎ)    | <a href="mailto:t-izumi-uozumi@a012.broada.jp">t-izumi-uozumi@a012.broada.jp</a>                    | 2011年10月17日 (変更) |
| 渡邊 博子 (しらさぎ)    | <a href="mailto:52ji8a@bma.biglobe.ne.jp">52ji8a@bma.biglobe.ne.jp</a>                              | 2012年11月20日 (取得) |
| 立花 典子 (しらさぎ)    | <a href="mailto:tachibana-1956@a012.broada.jp">tachibana-1956@a012.broada.jp</a>                    | 2012年12月13日 (変更) |
| 土川 邦子 (西宮)      | <a href="mailto:k_tsuchikawa2013@ybb.ne.jp">k_tsuchikawa2013@ybb.ne.jp</a><br>Tel.&Fax 06-6151-4832 | 2013年1月20日 (変更)  |
| 奥澤 節子(クリスタル・宝塚) | <a href="mailto:granji.babu@gaia.eonet.ne.jp">granji.babu@gaia.eonet.ne.jp</a>                      | 2013年4月2日 (変更)   |

前回記載分含む

敬称略

V 会合コーディネート委員長 西畠敏子

|                |  |  |  |            |
|----------------|--|--|--|------------|
| ITC日本リージョン     |  |  |  |            |
| カウンスルNo.3      |  |  |  |            |
| 第32期 2012～2013 |  |  |  | 2013年3月25日 |

カウンスルNo.3第32期第2回会合決算書

日 時:2013年3月25日(月)11:00～15:00

場 所:神戸ポートピアホテル地下1F 和楽の間

(単位:円)

| 収 入              |         |  | 支 出   |         |                               |
|------------------|---------|--|-------|---------|-------------------------------|
| 項 目              | 金額      | 備 考  | 項 目   | 金額      | 備 考                           |
| 会 費              | 475,700 | 全日@4,600×97名<br>全日@4,300×5名<br>午後@1,000×8名 | 昼 食 代 | 468,700 | @4,300×109名<br>(ITCプラン、サ・税 込) |
|                  |         |  | 音 響 費 | 5,650   | 有線マイク 2本<br>ワイヤレスマイク 2本       |
|                  |         |  | 消 費 税 | 282     |                               |
| スピーチコン<br>テスト委員会 | 30,100  | @4,300× 7名                                 | 小 計   | 474,632 | ホテルへの支払                       |
| 会合補助費            | 5,000   |  | 儀 典   | 24,175  | 花・菓子代                         |
|                  |         |  | 事 務 費 | 2,100   | コピー、席札他                       |
| 前回繰越金            | 38,491  |  | 振 込 料 | 420     |                               |
|                  |         |  | 繰 越 金 | 47,964  |                               |
|                  |         |  | 小 計   | 74,659  |                               |
| 合 計              | 549,291 |  | 合 計   | 549,291 |                               |

## VI 高校生スピーチコンテスト委員長 中島由美子

| 収 入        |         | 支 出    |                                 |                          |                                |
|------------|---------|--------|---------------------------------|--------------------------|--------------------------------|
| 項 目        | 金 額     | 備 考    | 備 考                             |                          |                                |
| 高校生SC委員会経費 | 50,000  |        | 会場費 (30,200円×1/2)               | 15,100                   | 301,302,303号室                  |
| リージョンより補助金 | 20,000  |        | 審査員・評価者お礼 (5,000円×3 + 2,000円×7) | 29,000                   | 外部審査員 5000円、他カウンスル2,000円       |
| ITC会員参加者より | 31,500  | 500×63 | スピーカー賞品(図書カード)                  | 15,000                   | 優勝:3,000円/準優勝:2,000円/参加:1,000円 |
|            |         |        | トロフィー・表彰用紙、額 4+5                | 9,740                    | トロフィー2台 6,305円/額480×4+105×5    |
|            |         |        | お茶150本・ペットボトル大5本+紙コップ150        | 7,325                    | @42×150本+1,025円                |
|            |         |        | スピーカー・審査・評価者用茶菓・参加者用飴           | 4,049                    |                                |
|            |         |        | 花代                              | 3,000                    | 演台・受付                          |
|            |         |        | コサージュ                           | 1,688                    | スピーカー9名分                       |
|            |         |        | 審査・評価用・会場用幕・表示札・名札筆記用具          | 4,487                    |                                |
|            |         |        | 配布用資料                           | 1,500                    |                                |
|            |         |        | 写真代                             | 2,000                    |                                |
|            |         |        | 諸用紙・案内書作成インク代                   | 6,331                    |                                |
|            |         |        | 評価用紙・写真送付封書及び料金                 | 2,280                    |                                |
| 合 計        | 101,500 |        | 合 計                             | 101,500                  |                                |
|            |         |        |                                 | 報告:高校生スピーチコンテスト委員長 中島由美子 |                                |

2013年3月23日(土) 兵庫県私学会館に於いて第2回高校生スピーチコンテストが英語、日本語と交互に9名で実施されました。会場は昨年より広い場所でしたが、参加校の先生方、応援の保護者や生徒さん達総勢128名の参加者で大盛況でした。審査は公平で、厳正にして頂くため、英国人大学院英語講師、通訳・翻訳家、神戸新聞社取締役営業部長等、外部の有識者に依頼しました。また日本リージョンからはほぼすべての役員に、審査員、評価者をお願いしました。評価者はもちろんカウンスル No.3 の会員にもお願いしました。表彰後の審査員4名による講評は生徒達にとって今後の指針になる有益なものだったと思います。今回もまた多くのカウンスル No.3 の会員の強力なサポートで高校生スピーチコンテストがスムーズに運んだことは言うまでもありません。

また、次世代のお役にたてるよう、更には ITC の知名度をアップし、国際的な教育機関であるという事を世間に広く告知していくという事も兼ね備えたプログラムである事は間違いないと思います。今後の発展を決めるのは会員一人ひとりの前向きな意思につきると、今回も感じました。表彰式の後の高校生の充実した笑顔は会場にいた誰もの記憶に残るものであり、新聞記事をご覧になった方も同じ笑顔に違いありません。(Web 記載 記事より)



## 高校生スピーチ コンテスト



スピーチコンテスト  
高校生9人  
思い伝える  
神戸、日本語と英語で

県内の私立高校生が自分の思いを伝えるスピーチコンテストが23日、神戸市中央区の県私学会館で開かれ、日本語、英語の各部門に計9人が参加した。日本語部門ではボランティアの理想像を語った芦屋学園高の森下果奈さん(17)川西市が、英語部門では若者が日本に誇りを持つことの大切さを訴えた甲南女子高の北方美穂さん(16)西宮市が優勝し、賢明女子学院高の岸本真由さん(16)赤穂市、英語部門が同校の吉本愛理さん(16)姫路市。(畑野士朗)

それぞれの思いを懸命に訴えたスピーチコンテストの参加者＝県私学会館

た。  
コミュニケーション能力などを育てる国際組織「ITC」の県内会員らで構成する「カウンシルNo3」が企画し、今年で2回目。  
森下さんはスピーチで「困っている人の心に寄り添い、手を差し伸べることが出来る人になりたい」と強調。「今日はちようど誕生日。これからも会話能力を磨きたい」と優勝を喜んだ。  
北方さんも「言いたいことが多くあり、原稿をまとめるのに苦労した。日本の未来を今の若者が担っていることを伝えていきたい」と話した。  
準優勝は、日本語部門

神戸新聞 3月24日朝刊

Ⅶ アンケート結果 佐伯第二副会長より、アンケートをお願いいたしました。ご協力ありがとうございました。(順不動)

### ITCについての意見1

#### 1. ITCは事務事が多い……

団体であれば連絡事項の必要性から多いことは致し方ないが出来るだけ簡素化を望む。

#### 2. 会則に縛られているのでは……

ITC会則というよりも日本リージョン会則を現状に合わせた会則にしてほしい。

#### 3. ITCヤングクラブの設置づくりは……

将来を見据えて必要と思うがITCそのものが今の若者に受け入れられるか疑問に思う。

#### 4. ITCを通じて社会へ参加する団体としていくには……

災害時のボランティア活動とか地域に密着した活動が必要と思う。

#### 5. ITC教育の資格は国家認定とつながるようには……

自己啓発のみであれば国家認定の資格は必要でないと思う。

## 6. ITCがNPOまたは一般社団法人としての方向性は

一定の奉仕団体としての活動が必要ではないでしょうか。

## 7. 今後のITCの方向性はどこに向いていくか

自己啓発だけでなく社会とのつながりのある活動が必要と思う。

### ITCについての意見2

#### 1. ITCは事務事が多い・・・

会員にCLOとしての連絡が多い、連絡してもメールボックスが一杯で送信できない会員があり困る。

#### 2. 会則に縛られすぎているのでは・・・

ご意見

#### 3. ITCヤングクラブの設置作りは・・・(例：18歳～30歳まで)

これからのITCを考えた時には大変必要だが、友人を誘うので、年寄クラブには難しい。

#### 4. ITCを通して社会へ参加する団体としていくには・・・

教育団体につながりをつける事の準備、が必要と考えられる。

#### 5. ITC教育の資格は、国家認定とつながるようには・・・

教育庁の要求する所と今のITCが必要条件を整えているのかを調べる必要があると思う。それからの話である。

#### 6. ITCがNPO又は一般社団法人としての方向性は・・・

NPOとの関連性をどの部分で膨らませるかを調べる事からでしょう。

#### 7. 今後、ITCの方向性はどこに向いていくか・・・

若返りを目的とするのか？現存のメンバーで進めるのかで、大きく異なってゆく。老人クラブもこれからの社会では必要な事です。そのばあいは、ボケ防止まではいかなくとも、楽しみを目的として行けばよい様に考えられる。

### ITCについての意見3

#### 1. ITCは事務事が多い・・・

事務事が多いとは、思いますが、入会3年では、まだよくわかりません。過去に役を行っていた方々はもっと大変ではなかったかと思えます。

#### 2. 会則に縛られすぎているのでは・・・

もっと省略すればと思うことは、たくさんあります。

#### 3. ITCヤングクラブの設置作りは・・・(例：18歳～30歳まで)

最近の若い人は、ネットとかで人と繋がっているので、ヤングクラブを作るのは、難しいと思えますが、作らないと先が見えなくなるかも分かりません。

#### 4. ITCを通して社会へ参加する団体としていくには・・・

一人一人の意識の変革が必要だと思います。

#### 5. ITC教育の資格は、国家認定とつながるようには・・・



分かりません。

6. ITCがNPO又は一般社団法人としての方向性は・・・

NPOとか社団法人化するのは、良いことだと思います。

7. 今後、ITCの方向性はどこに向いていくか・・・

高齢化して、会員も減少すると思います。

### ITCについての意見4

1. ITCは事務事が多い・・・

役員だけが知るべきこととそうでない区別をきっちりすること。

2. 会則に縛られすぎているのでは・・・

会則を分かっていないのに自分流の解釈を押しとす人がいる。

3. ITCヤングクラブの設置作りは・・・(例：18歳～30歳まで)

望ましい。 学生、留学生対象

4. ITCを通して社会へ参加する団体としていくには・・・

アピール、社会参加の必要性。

5. ITC教育の資格は、国家認定とつながるようには・・・

6. ITCがNPO又は一般社団法人としての方向性は・・・

活動の中心となる人がいるかどうか。

7. 今後、ITCの方向性はどこに向いていくか・・・

内部においては、ITC国際へ日本人が出て活動を行う。

外部においては、特色を持ち、社会とかかわる。

### ITCについての意見5

1. ITCは事務事が多い・・・

各自必要と思われる書類のみを取捨選択すればよい。情報が得られてよい。

2. 会則に縛られすぎているのでは・・・

縛られすぎているとは思わない。会則は会を運営していく上で必要最低限と思われる。これを基本にしているので戸惑うことなく運営できると思う。

3. ITCヤングクラブの設置作りは・・・(例：18歳～30歳まで)

ヤングクラブを新たに作るよりも、既成のクラブと一緒に勉強した方がよい。

4. ITCを通して社会へ参加する団体としていくには・・・

ITCの目的が自己啓発なので、団体としてよりも個々で行った方がよい。それが多人数になっても構わない。

5. ITC教育の資格は、国家認定とつながるようには・・・

今までの教育では、即社会に仕事として通用するのは難しいと思う。

社会はもっと専門的な知識を要求していると思われる。

社会に認められている外国のリージョンに学んではどうか。

6. ITCがNPO又は一般社団法人としての方向性は・・・

7. 今後、ITCの方向性はどこに向いていくか・・・

個々の人格形成に向いていくと思われる。

## ITC についての意見 6

### 1. ITCは事務事が多い・・・

最近ITを利用して前より書類が多い。

### 2. 会則に縛られすぎているのでは・・・

会則を分かっていないのに自分流の解釈を押しとす人がいる  
会則はこころろ変えるものでない。

### 3. ITCヤングクラブの設置作りは・・・(例：18歳～30歳まで)

望ましいが日本ではむずかしい。  
留学生対象のバイリンガルクラブなどは理想的です。  
学生には学割を採用する。

### 4. ITCを通して社会へ参加する団体としていくには・・・

PREMの力とコネが要る。

### 5. ITC教育の資格は、国家認定とつながるようには・・・

昔アメリカ(ニクソン大統領夫人も会員であった)でそうであったようには  
いかない。その動きの軸となる人がいない。

### 6. ITCがNPO又は一般社団法人としての方向性は・・・

むずかしい。 そのために動く人がいるかが問題です。

### 7. 今後、ITCの方向性はどこに向いていくか・・・

日本は人数が多い分国際に力を持って行ける力量、気配はあります。  
今回のハワイ大会ではたくさんの日本人が活躍します。  
高齢化するので、特色を持たないといけない。

## ITC についての意見 7

### 1. ITCは事務事が多い・・・

組織として一体性を維持する為にある程度必要だと思う。  
メール活用の簡素化・合理化への努力は必要。

### 2. 会則に縛られすぎているのでは・・・

会則は全ての会員に対して平等にあるので大切。

### 3. ITCヤングクラブの設置作りは・・・(例：18歳～30歳まで)

曜日・時間・目的などを若人の生活環境に合わせてクラブを作り既成クラブとの  
相互の交流が有効かつ魅力的なものであればよい。

### 4. ITCを通して社会へ参加する団体としていくには・・・

ITCの目標は自己啓発なので、奉仕団体としての方向転換がある程度求められるのでは。

### 5. ITC教育の資格は、国家認定とつながるようには・・・

日本リージョン所属クラブがすべて同じプログラムを実施している訳ではない  
ので、現時点で国家認定に繋げるには無理があるが、よって日本独特の規格を  
作り、学校・会社・社会の中で誰でもが出来るITCの中だけの参加による資  
格にこだわらないカリキュラムが必要ではないか。

**6. ITCがNPO又は一般社団法人としての方向性は・・・**

基本がITCは非営利団体の教育機関であるので、組織としての転換が有れば教育としてのマナー・言葉使い・おもてなし等指導できるグループとして確立してはどうか。

**7. 今後、ITCの方向性はどこに向いていくか・・・**

自己啓発を目指す人は今後もあると思うので、そのニーズに適応出来れば持続出来るのではと思う。

**ITCについての意見8**

**1. ITCは事務事が多い・・・**

ある程度の事務は、必要かと思います。

**2. 会則に縛られすぎているのでは・・・**

会則からずれると、どの程度なら・・・が難しいのでは、

**3. ITCヤングクラブの設置作りは・・・(例：18歳～30歳まで)**

内容をかなり変えれば、興味を持ってもらえると思います。

**4. ITCを通して社会へ参加する団体としていくには・・・**

今の社会に何が必要かを認識する事が先決だと考えます。

**5. ITC教育の資格は、国家認定とつながるようには・・・**

積極的に、なられる方もおられると思いますが、ただ、参加するだけでは・・・と思います。

**6. ITCがNPO又は一般社団法人としての方向性は・・・**

あまり、意味を持たないと思います。

**7. 今後、ITCの方向性はどこに向いていくか・・・**

あまり、意味が解りません、すみません

**ITCについての意見9**

**1. ITCは事務事が多い・・・**

必要な事務は当然だと思うが、工夫次第で解決できると思う。

**2. 会則に縛られすぎているのでは・・・**

会則があるからITCと云う団体が存在し、存続できるので、ある程度の縛りは当然であると考える。

**3. ITCヤングクラブの設置作りは・・・(例：18歳～30歳まで)**

**4. ITCを通して社会へ参加する団体としていくには・・・**

社会に還元できる良き教育内容が必要であると考える。

高校生スピーチコンテストの様にITCの確立しているノウハウを使っての方法は社会参加をし出したと言えると考える。

**5. ITC教育の資格は、国家認定とつながるようには**

## 6. ITCがNPO又は一般社団法人としての方向性は・・・

## 7. 今後、ITCの方向性はどこに向いて行くのがよいと考えるか

ITCが議事会議とプログラムの2本立てであるという原点をしっかりと見つけ直し、カルチャーセンター化している現状を立て直し、時代に合う高度な内容の教育課程を作る方向性が必要である。

会則の裏付けがあるから確立した団体と言えるのであって、会員が会則に関する理解を深める機会を作り、秩序ある団体として、社会の信頼を得る工夫が必要であると考える。ITCでの学びが社会で役立つという証明が必要になると考える。

## ITCについての意見 10

### 1. ITCは事務事が多い・・・

- \* 仕事ではないので、もう少し簡素に。負担に思う会員が多いのでは。
- \* 確かに、役によっては事務事が多く、忙しすぎると思う。
- \* 私自身も事務事に追われています。ルールに従えばそうなるのでしょうか。
- \* 事務が煩雑すぎる。簡略できる箇所はもう少し簡略化すべきである。  
でなければ、会員の事務負担が増え、会員として続けられなくなる。
- \* 他の団体（ロータリー、ライオンズ）のように、クラブ、カウンスルには事務局がないので、しなければならないことが多すぎる。
- \* 組織運営をしていく上で、ある程度は必要である。確かな運営をしていく上で、確かな事務処理が必要であるが、会員に負担にならないよう簡略化した方がよい。
- \* これからのITCを考えると、仕事を持つ方でも入会できやすいようスリム化を希望する。

### 2. 会則に縛られすぎているのでは・・・

- \* 会則があつてこそその運営なので、運営の指針になるので外せない。
- \* 組織運営において会則は必要なものであり、ITCはそのお勉強をしているので、縛られているとは思わない。
- \* 細かい点まで会則に縛られ、なかなか自由に会の運営ができないし、事務の煩雑さを招いている。会則改正も細かい部分にまでこだわり過ぎる。どちらでも良いことは改正する必要ないと思う。
- \* 会員のための会則なので、柔軟な対応をするとよいと思う。
- \* やはり会則は必要であり、大切に、縛られているとは思わない。
- \* 会則に縛られ過ぎず、柔軟に行動すべきだが、反面、会則あつてのITCです。

### 3. ITCヤングクラブの設置作りは・・・(例：18歳～30歳まで)

- \* ジーニスクラブの成果を見てからが良いと思う。
- \* 設置できるならば、将来の会員増につながると思うが、現在、若者の興味を惹く他のいろいろなクラブ(集まり)があり、よほど何か工夫しないかぎり、入る者がいるかどうか疑問である。
- \* 現在、ジーニスクラブの設置に働いているようなので、様子を見てから。

\* 30歳まで

\* 高齢化の現在、ヤングクラブを作らず、現状態のヤングメンバーの入会が必要である。

\* あっても良いが30歳を過ぎたらどうなるのか？

#### 4. ITCを通して社会へ参加する団体としていくには・・・

\* 色々とデモンストレーションを行ったりして、アピールする。

\* 今ITCで学んでいることが、社会に通じるかどうか問題です。

\* 高校生スピーチコンテストのように、ITCで学んでいることを少しでも社会に貢献するようにする。

\* 国際のままを通すのではなく、日本社会の通念に合わせる必要がある。

\* 社会参加するには、ITCで学んだことを外部で実践しなければ（上手な話し方を教えるとか、子供たちに朗読してあげるとか）社会には認められない。

ITCは、自己研鑽を謳った団体だが、ボランティアの方向も打ち出せば、社会参加もできると思うが。

\* 社会に対して、認知度を上げる必要がある。

\* 会員一人一人の理解が必要だと思う。

#### 5. ITC教育の資格は、国家認定とつながるようには・・・

\* 根気よく公共の機関に働きかければ、可能かもしれない。

\* 国家認定の資格としては、条件が多すぎて難しいと思う。

\* 資格を必要とする若いメンバーの入会が必要である。

\* 話が大きすぎる。

#### 6. ITCがNPO又は一般社団法人としての方向性は・・・

\* 目的が、NPOでも社団法人でもないので、今のままで良い。

\* ITCの目的とは異なるように思う。

\* NPOにしていただけならば、発展性があり、社会性が出てくるが。

\* 今のままの状態では、無理があるように思う。

#### 7. 今後、ITCの方向性はどこに向いていくか・・・

\* 自分たちの勉強、研鑽だけでは自己満足に終わってしまい、縮小してしまう一方である。やはり社会に対して何か役に立つことをすることだと思う。

\* 理念を守りながら、現在の会員の多様な意見をまとめることが大切。

\* 各人がITCのトレーニングの積み重ねを行うことによって、地道な研鑽を行い、その成果を各人の持ち場で発揮する。

\* ITCはあくまでも自己啓発、自己の向上を目指すもので、それを自分の置かれている場所で、どう生かせるかが問題である。

\* クラブ会員の意志疎通を踏ることから、新たな方向性も定まり、社会とのかかわりも今後必要になると思う。

皆様から貴重なご意見をいただきました。

ご意見を参考にし、皆様と共により良いITCの将来を考え、そして活動することが出来ればと思います。